

広陵中だより



学校の教育目標
～ひびき合い 高め合う生徒～

発行所; 可児市立広陵中学校
第2号 発行日; 令和7年4月24日

「人権と命を大切にする学校」「明日も来たくなる学校」「笑顔溢れる学校」

校長 桂川 辰也

「転ばぬ先の杖」にはなるまい！

先日、湯の華市場で買物をしていたら「校長先生じゃないですか？」と声をかけてみえた方がありました。「こんにちは、もしかして広陵中の方ですか？」と挨拶すると、「PTA 総会の校長先生の話、とても良かったです。親の在り方を考えさせられました。ありがとうございました。」と話してくださいました。とっさのことでお名前を聞きそびれてしまいましたが、このリアクションはとても嬉しかったです。受け入れられているという「**安心感**」を与えていただきました。こちらこそ、ありがとうございました。あいさつの内容は次のようです。

今年度一番大切にしたい事は「**安心感**」のある学校です。このことについて少し補足したいと思います。学校は安全・安心でなければならないと思っておりますが、「**転ばぬ先の杖**」にだけはならないよう、努めたいと言うことです。

先日ある精神科医の講話を聞く機会がありました。その中で「社会人になって引きこもっている人の8割が学生時代不登校の経験がない」という話があり、強く心に残りました。

「学校は安全・安心でなければならないが、躓く可能性のある障害物を全て排除してはならない」
「転ばない方法を学ぶ場ではなく、転んだ後どうするのか、躓きに強い生き方を学ぶ場でなければならない」

改めて考えさせられました。しかし、情け無い話ですが私たち教員は、ついつい多くの場面で「**転ばぬ先の杖**」を選択しがちなのです。

それでも今年は、「子どもはケンカをして当たり前、色々な失敗をして当たり前、転んだら立ち上がるだけのこと、色々な経験させてやろう！」という意気込みで、職員一同頑張ろうと思っています。どうぞ、ご理解ご協力のほど、宜しくお願いします。

最後になりましたが、不安な事や分からないことがありましたら、本校職員の誰でも結構です。一番話しやすい人、自分の思いを汲み取ってもらえそうだった人に遠慮なく声をかけてください。もちろん、私でもOKです。

一年間宜しくお願いします。

右の写真は、体育大会の団決めの一コマです。
ステージ上で自分の感情を全身で表現している彼らの姿から、広陵中に漂う「**安心感**」をしみじみ感じ、とても嬉しくなりました。

体育大会当日が今からとても楽しみです。

